

話題の本を英語で読む！

★ 2階外国語資料コーナーの本から話題作をご紹介します！

1 *The overstory*

Richard Powers/著

Vintage, 2019

請求記号 Y933.7/PO

資料番号 0180573131

日本語訳は『オーバーストーリー』（木原 善彦/訳、新潮社、2019.10）

「優れた本とは、読前読後で世界が違って見える本」と定義するならば、この本は間違いなく優れた本と言えるでしょう。『オーバーストーリー』では木々を軸に、7人と一組の男女のストーリーが重なり、やがて一つの壮大なストーリーになってゆきます。46億年の歴史を持つ地球上に人間が登場するのはわずか20万年前。長い時間をかけて蓄えた森林をはじめとする豊かな資源を、私たちは産業の発展のためにここ1世紀あまりで使い尽くそうとしているように思えます。最近の極端な地球環境の変化は森林破壊と大いに関係があり、未来のために森林を守り育ていく責任が私たちにはあるのではないのでしょうか。この本に登場する植物学者の「木々は互いにコミュニケーションを取っている」という学説は実際に存在するようで、それを知ってから身近にある街路樹や藻岩山の原生林を見る目が変わりました。

作者のリチャード・パワーズは本作で2019年のピューリッツァー賞（フィクション部門）を受賞。最新作 *Bewilderment* が2021年のブッカー賞最終候補作になっています。

外国語資料豆知識：ピューリッツァー賞、ブッカー賞、国際ブッカー賞

ピューリッツァー賞 (Pulitzer Prizes) はジャーナリズム、音楽、文学などの部門ごとに毎年選出され、歴史部門以外は著者がアメリカ国民であることが条件です。新聞王であったジョゼフ・ピューリッツァーの遺産を基に、優れたジャーナリストの奨励を目的として作られた賞で、「言論のノーベル賞」「ジャーナリズムのアカデミー賞」とも呼ばれます。ブッカー賞 (Man Booker Prize for Fiction) はイギリスの文学賞で、小説に対する社会的関心を想起することを目的として創設されました。イギリスおよびアイルランドで発表された長編小説を対象としています。国際ブッカー賞 (Man Booker International Prize) はイギリスで出版された英訳の翻訳作品が対象で、昨年は小川洋子『密やかな結晶』（英題：The memory police）が最終候補に残りました。近年アジアや中東、アフリカなどの小説が英訳され、目にする機会も増えていますね。



貸出中の場合もあります。ご不明の点はカウンター職員におたずねください。
〒064-8516 札幌市中央区南22条西13丁目1番1号 電話 011-512-7355
<http://www.city.sapporo.jp/toshokan/> 札幌市中央図書館 2階 外国語資料コーナー

2 *Ask a philosopher*

Ian Olosov/著

Godsfield, 2020

請求記号 Y104/O

資料番号 0180777740

日本語訳は『哲学者への質問 NYの街角で「哲学者だけど質問ある?」と掲げて行われた哲学問答集』(月谷真紀/訳、サンマーク出版、2021.5)

ニューヨークで「哲学者だけど質問ある?」と道行く人々に問いかけ、そのやり取りをまとめた一冊。「『愛』ってなに?」といった定番の質問から「『ケチャップ』ってスムージー?」というユニークな質問まで、哲学者である著者が大真面目に答えます。世の中すぐに答えが出ることばかりではありません。時には厄介な問題に頭を抱え、眠れない日々を過ごすことも…。それでも、頭の中がひっくり返るほど「考える」ことが出来るのは、もしかしたら人間の特権なのかも?—そんなことを考えるきっかけとなる本です。

3 *Ask Iwata Words of wisdom from Satoru Iwata Nintendo's legendary CEO*

Hobonichi/編

Viz Media, 2019

請求記号 Y589.7/H

資料番号 0180777815

原作は『岩田さん 岩田聡はこんなことを話していた。』(岩田聡/[述]、ほぼ日、2019.7)

2002年から2015年に亡くなるまで、任天堂の代表取締役を務めていた岩田聡さん。ニンテンドーDSやWiiをプロデュースした彼の偉業は、ゲームファンやゲームクリエイターから広く称えられています。「ゲーム人口の拡大」というテーマを掲げていた彼の言葉をまとめた本書。ゲーム好きはもちろん、クリエイターやビジネスマンにもおすすめしたい一冊です。ちなみに、岩田さんは札幌出身!高校在学中から、独学でプログラムを学び、自作のゲーム等を作成していたそうです。学生時代から才能の片鱗を示していますね…。

The miseducation of Cameron Post

4

Emily M. Danforth/著

Penguin Books, 2018

請求記号 YA933.7/DA

資料番号 0180777765

日本語訳は『ミスエデュケーション』

(有澤 真庭/訳、サウザンドブックス社、2020.11)

舞台は1993年のアメリカ。12歳のキャメロン・ポストは、とある秘密が叔母にばれてしまい、矯正施設へと送り込まれてしまいます。その秘密というのは、彼女が同性愛者だということ。施設内の強制プログラムでは「同性愛=罪」であるという思想を押し付けられるキャメロンですが、同じく収容された仲間たちとの絆も深まっていきます。そんな中、ある事件が…。今の時代も残る性的少数者に対する偏見を改めて考えたくになります。



貸出中の場合もあります。ご不明の点はカウンター職員におたずねください。
〒064-8516 札幌市中央区南22条西13丁目1番1号 電話 011-512-7355
<http://www.city.sapporo.jp/toshokan/> 札幌市中央図書館 2階 外国語資料コーナー